

## 第7回日釣連チヌ釣りトーナメント大会 3位 京都府釣連盟 濱田 靖通



令和6年4月14日(日)和歌山県は田辺市目良地区において第4回以降自身2度目となる日本釣連盟連絡協議会第7回チヌトーナメントの決勝大会に参加させて頂きました。大会当日は天候にも恵まれ参加選手全員が釣果に期待していたことと思います。一回戦目は和歌山代表の檜村選手との対決で45分ハーフという短い時間での勝負で朝一はまだ餌も効いてない為か、お互いノーフィッシュの0-0 後半もお互い当たりもほとんど無く磯際をじっくり攻めていた私に終了1分前に目の覚めるような当たりがありました。手前のハエ根に突っ込まれ惜しくもラインブレイク。結果、前後半通してお互いノーフィッシュで、またもや0-0で終了。運よくじゃんけんで勝たせて頂き何とか準決勝へ進出し三重代表川上選手・兵庫代表高田選手と3人で45分×3ラウンドの対決。磯座優先権があった私は船着きから釣りスタートするとウキを僅かに抑え込むような微な当たり。これを掛け合わせる釣りで1ラウンド目に2匹釣り上げる事が出来ました。終始微妙ながら当たりがあったので釣り座を交代したら後半追いつかれるだろうと思ひながらの2ラウン

ド目。しかしながらノーフィッシュでの3ラウンド目。ここでは更に2匹追加し4-1-0で、なんと決勝戦へ駒を進める事が出来ました。決戦の舞台は実績あるヤタで、必ず釣れる磯だと言うことでこの為にとっておいたというほどでした。ここまで来たらと焦る気持ちを抑えて1ラウンド目は一番浅そうな場所の磯際からスタートしましたが45分ノーフィッシュで場所交代して2ラウンド目、私のあとから入られた兵庫代表神吉選手が大遠投で1匹釣り上げられましたが私も食らいつく気持ちでなんとか1匹釣り上げ追いつきましたがその後、兵庫代表の新開選手も1匹の追撃。3ラウンド目に神吉選手の2匹目追加で決定的かと思われましたが、新開選手が最終4ラウンド目に怒涛の3連続で試合終了の合図。検量の結果4-2-1-0で新開選手の優勝で終了しました。私は3位という順位で今の私の釣技では十分過ぎる悔しくも嬉しい結果で終了する事が出来ました。来年はシード権を頂けるので今回の反省点をしっかりと改善し再挑戦させて頂きたいと思ひます。又、今回大会を運営して頂いた和歌山の連盟の皆様、他役員の皆様、協賛メーカー様、誠にありがとうございました。また快く渡船をしてくださった目良渡船様本当にありがとうございました。

竿：シマノ極翔 1-500

リール：シマノ BBX テクニウム C3000DXXG-SR

道糸：東レ ブラックマスター1.75号

ハリス：東レ スーパーLEX HYPER1.75号/2号

ウキ：ソルトブレイクジャパン G-ARROW SS B

針：がまかつ 丸呑チヌ2号/3号・貫チヌ1号/2号